

令和2年8月25日

教育部美術博物館

一約1,300年前(7~8世紀)の古代集落跡を発掘— 東側遺跡(牛川町)の発掘調査現地説明会を開催します

牛川西部地区土地区画整理事業に伴う東側遺跡の発掘調査において、7~8世紀の竪穴建物跡がまとまって見つかりました。これまでの調査を含めて、東側遺跡は古代の集落であったと判明しました。

以上の成果を市民の皆様にお知らせするため、現地説明会を開催します。なお、今回の発掘調査区は遺跡の北西端にあたり、集落の痕跡を間近で見ることができます。

■東側遺跡の発掘調査現地説明会

と き：8月29日(土)10時30分~11時30分、14時00分~15時00分

と こ ろ：豊橋市牛川町字東側(別添図参照、豊鉄バス「三菱ケミカル口」下車徒歩5分)

内 容：発掘調査で確認された東側遺跡の竪穴建物跡などの遺構について、間近でわかりやすく解説します。

参 加：自由(現地集合・現地解散)

※解説は適宜行い、所要時間は20分程度を予定しています。

※参加者される皆様には手指の消毒、検温、マスクの着用をお願いします。

※荒天や感染症拡大等に伴い説明会を中止する場合は、当日午前9時までに豊橋市美術博物館HP(<http://www.toyohashi-bihaku.jp/>)でお知らせします。



竪穴建物跡と竪跡(焼土)

(竪跡の土は赤く焼けています)

ごみが廃棄されていた土坑

(須恵器が捨てられていました)

ポイント① 7~8世紀の集落跡を検出

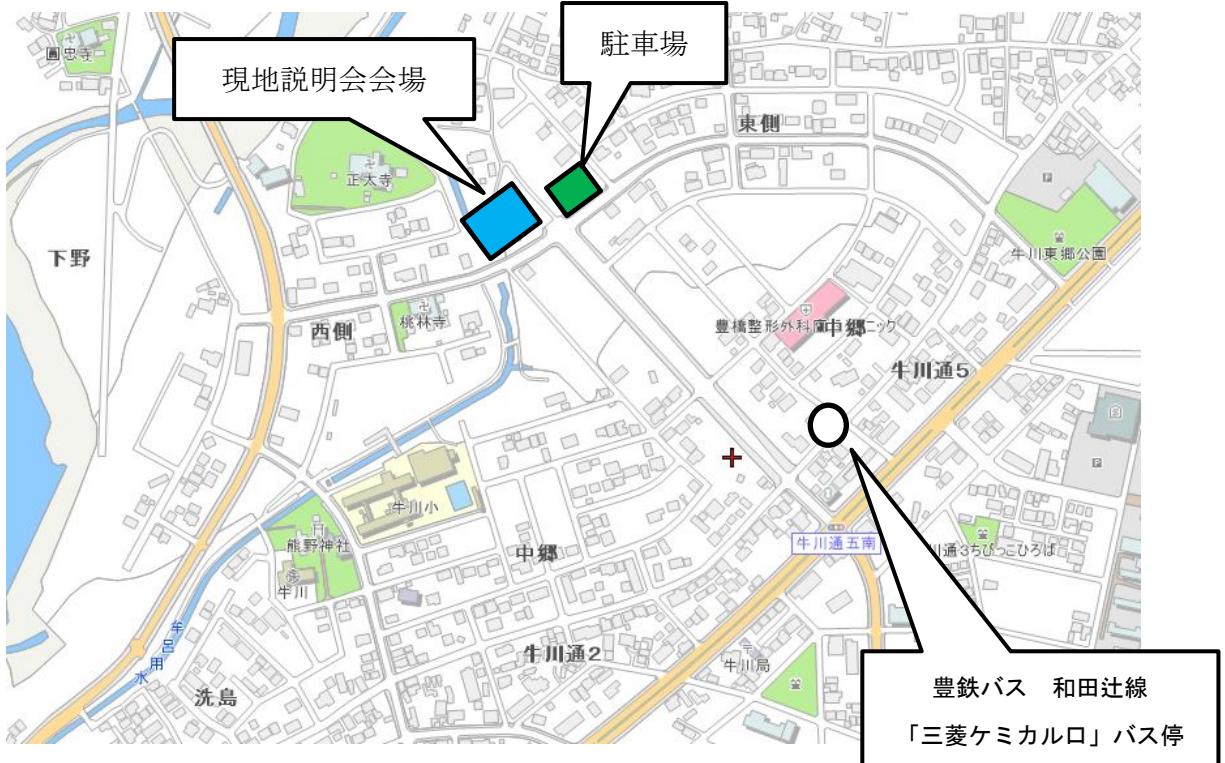
竪跡が見られる複数の竪穴建物跡と、廃棄土坑が見つかりました。本調査区は、東側遺跡内の古代集落の北西端にあたります。

ポイント② 東側遺跡における古代集落の全容が判明

これまでの発掘調査では、7~8世紀の竪穴建物跡が25軒と、掘立柱建物跡が2軒見つかっています。これらの遺構は東西約60m、南北約110mの範囲に及ぶことがわかりました。役所や寺院などを除く、一般庶民が生活する集落の全容がわかる珍しい事例です。

問合先 教育部 美術博物館(文化財センター) 電話 0532-56-6060

※説明会当日は職員不在ですので、ご注意ください。



現地説明会 会場案内図

- 会場近くに駐車場を用意していますが、台数に限りがあります。公共交通機関のご利用をお願いします。
- バスの時刻については、豊鉄バスにお尋ねください。